大阪 歯科
保険医新聞
12/15
2009年第1029号
（毎月5、15、25日発行）
大阪府歯科保険医協会
発行人　志岐　敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

診療報酬ぜひ引き上げを

# 会員署名5割超え、緊急要請

## 予算確保求め首相、財務・厚労相、国会議員らへ

来年度予算編成に向けて「ネットプラス改定」を主張する厚労省と、「ネットマイナス改定」を主張する財務省がせめぎ合っている。協会が夏から取り組んできた「診療報酬引き上げと患者負担軽減を求める」会員署名は、このほど5割を超えた。会員の切実な声を集めた署名は、予算案に診療報酬引き上げ財源を確保するため、12日、鳩山首相、藤井財務相、長妻厚労相、社保審・医療部会・医療保険部会委員・中医協委員、地元国会議員に届けた。

### 国会要請など波状的に

この間協会は、歯科診療報酬の引き上げや、患者負担引き下げ、レセプトオンライン請求の義務化撤回、自主共済の改正保険業法の適用除外などを求めて、会員・患者署名を携え国会議員へ要請（表）、議員向けFAXニュースの発行、レセオンライン義務化撤回訴訟、オンライン省令改正案へのパブリックコメントの組織、民主党議員との懇談など、波状的な活動に取り組んできた。

診療報酬改定では、歯科医療に壊滅的な打撃を与えた06改定による効率化からの転換を求め、会員・患者署名に取り組み、会員過半数を超える56・7%を集約、会員、患者の声を携えて精力的に国会議員要請に取り組んできた。

こうした運動で、2010年度診療報酬改定に向けて歯科医療は充実する視点として位置付けられた。

会員からの2117筆の署名は、12月12日に関係先に届けた。24日は長尾敬衆院議員（民主）と大阪で懇談する。

### 協会運動が情勢動かす

レセプトオンライン請求義務化の撤回運動では、民主党が公約を無視して出した義務化同然のオンライン省令改正案に対し、「義務化撤回ではないのか」と会員FAXニュース、パブリックコメントを組織し187件の省令改正案への意見を集約した。これは歯科医療機関等から出された606件の意見の3割に上った。集約したパブリックコメントを使い大阪選出議員を中心に国会議員へのファクスニュースを発行した。また、レセプトオンライン義務化撤回訴訟はマスコミを巻き込んで世論形成するなど、政府・与党に大きなインパクトを与えた。これらの活動は、オンライン請求義務化を事実上撤回させる原動力となった。

自主共済の保険業法適用除外を求める運動では、不当な保険業法の適用によって保険医休業保障などの健全に運営されている自主共済を潰そうとする動きに対して、保団連・協会は亀井静香金融郵政改革担当大臣との懇談で、適用除外を勝ち取る方向で金融庁との調整に入るなどの前進を生み出している。

### より積極的な運動を

今後、協会は歯科診療報酬の改善、患者負担の引き下げのために国会議員への働きかけや、「保険歯科医療を守り、発展させる大阪の会」の活動、自主共済の保険業法適用除外を求める活動などを強化する方針を理事会で決定している。

（表）新政権発足後の協会の取り組み

| | |
|---|---|
| **【国会議員懇談】** | |
| 9月29日 | 民主，平野博文内閣官房長官秘書（歯科医療改善，海外技工について） |
| 10月9日 | 民主，稲見哲男議員（自主共済について） |
| 10月9日 | 共産，宮本岳志議員（自主共済について） |
| 10月16日 | 民主，長尾敬議員（後期高齢者，オンライン，租税特措法，自主共済について） |
| 10月20日 | 民主，梅村聡議員秘書（歯科医療改善,海外技工について） |
| 10月22日 | 民主，大谷啓議員（後期高齢者，オンライン，租税特措法，自主共済について） |
| 11月10日 | 民主，梅村聡議員（オンラインについて） |
| **【国会要請】** | |
| 9月16日 | 鈴木寛議員，森山浩行議員，村上史好議員，萩原仁議員，辻惠議員（民），宮本岳志議員（共）と面談 |
| 10月8日 | 長尾敬議員秘書（民），辻元清美議員秘書（社民），吉井英勝議員（共）と面談。「保険でよい歯科医療を求める請願署名」500筆，自主共済の署名668筆を提出 |
| 10月22日 | 竹本直一議員（自），長尾敬議員（民），山下芳生議員（共）と面談 |
| 11月5日 | 辻惠議員（民），山下芳生議員（共）と面談。「保険でよい歯科医療を求める請願署名」500筆，自主共済の署名1000筆を提出。 |
| 11月12日 | 宮本岳志議員，吉井英勝議員（共）に，自主共済の署名2000筆余を提出。 |
| 11月19日 | 長尾敬議員，中野寛成議員（民），吉井英勝議員（共），山下芳生議員（共）と面談。「保険でよい歯科医療を求める請願署名」3437筆を提出 |
| **【集会】** | |
| 10月22日 | 「レセプトオンライン請求義務化撤回を！」緊急国会内集会。参加者150人。谷博之議員，松崎哲久議員，首藤信彦議員，吉田統彦議員，初鹿明博議員，高邑勉議員（民）安部知子議員（社民），高橋千鶴子議員（共），が参加 |
| 10月22日 | 「社会保障を増やして，国民のための医療介護へ転換を！」10・22中央集会。参加者約4000人。山崎摩耶議員（民），安部知子議員（社民），小池晃議員（共）が参加 |
| 10月25日 | 「入れ歯が危ない　保険で良い歯科医療を」10・25決起集会。参加者418人。初鹿明博議員（民），小池晃議員（共）が参加 |
| 11月12日 | 保険行法の適用除外を求める11・12国会内集会。参加者125人。小林興起議員，橋本勉議員，大西健介議員，郡和子議員，初鹿明博議員（民），宮本岳志議員（共），田中康夫議員（新日） |
| 11月19日 | 「診療報酬引き上げ，患者負担軽減で医療崩壊から再生へ」国会内集会。参加者約100人。三宅雪子議員，玉木朝子議員，阪口直人議員，川越孝洋議員，小宮山洋子議員，川口浩議員，吉田統彦議員，大山昌宏議員，相原史乃議員，木内孝胤議員，松野信夫議員，斉木武志議員，辻惠議員，水戸将史議員，土田博和議員（民），小池晃議員（共），田中康夫議員（新日） |

裁判の今後の取り組みについて活発な意見交流が行われた報告集会＝4日、大阪市内

レセプトオンライン

## 事実上の義務化撤回

### 大阪訴訟　原告団で対応協議へ

レセプトオンライン請求義務化の撤回を求める大阪訴訟の第3回弁論が4日、大阪地裁で開かれ、河村武信弁護団長は、厚労省が11月25日に出した省令改正151号によって、当面の義務化は外されると判断するとして、裁判を収束の方向へと進める姿勢を示した。

河村弁護士は、今回の省令で、患者のプライバシー保護や医師の守秘義務の問題、標準医療が強いられるなど、原告が提起した問題がすべて解消されるわけではないとしたうえで、「オンライン請求義務化を定めた111号省令自体が廃止されたことにより、訴訟の第一義的な目的である開業医の営業の自由を守る点は達成された。訴訟の収束を探りたい」とした。

また次回の期日については、多数の原告の意思統一をはかるため1カ月程度の時間が必要として、裁判所が後日、次回期日を指定する「追って指定」を要請した。被告側の国の代理人は、原告側が訴訟取り下げの意思を書面で提出すれば、それに応じるとした。

弁護団は弁論後、大阪弁護士会館で報告集会を開き、山上紘志・歯科協会副理事長は、「事実上オンライン義務化が撤回されたことは運動の大きな成果。しかし、プライバシーの問題など未解決な課題への検討が必要」と発言した。

集会では、原告団総会を早急に開き、法廷内外の運動の役割を整理し、裁判続行の適否を検討するとした。

### 「レセプトオンライン義務化撤回」大阪訴訟原告団総会のご案内

オンライン義務化を実質的に撤回する内容の改正省令第151号の公布を受け、原告団の総会を下記のとおり開催します。

◇　◆　◇

【日時】12月27日（日）14：30～16：30
【場所】大阪府保険医協同組合会館M&Dホール

## 各種相談室

専門家がおこたえします

### 税務相談

【日　時】1月20日（水）午後2時～5時
【相談者】黒岩哲夫　税理士

### 雇用相談

【日　時】1月21日（木）午後2時～4時
【相談者】堀口正二　社労士

### 法律相談

【日　時】2月1日（月）午後2時～4時
【相談者】河村武信　弁護士

相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。

## 2010年診療報酬改定

### 厚労省 ネットプラス改定を表明

次期診療報酬改定をめぐって厚労省は9日、「全体として10年ぶりのネットプラス改定が必要」とする方針を発表した。

厚労省は前改定について、勤務医の負担軽減や救急医療の充実などを重点課題としたものの「必ずしも十分な効果が出ていない現状にある」と分析。三党連立政権合意の「医療費（GDP比）の先進国（OECD）並みの確保を目指す」ことなどを踏まえ、「国民の安全・安心を支える医療の再構築」に取り組むことを表明した。次期改定では、入院医療に優先的に配分するとともに、後方病床・在宅療養の機能強化を打ち出した。

財源は、薬価改定と医療材料価格改定による約5000億円を診療報酬本体に充当するとしても「これを超える規模の財源が必要」とした。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。
（郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください）

## 歯界

核廃絶や貧富格差の是正などの地球規模の課題の改善への期待や夢に疲労感が溜まってくる。老人達が次の世代へ明るい展望を手渡すめども付かぬままに悲惨な戦火が場所変えするに過ぎない。

他所に核兵器がある限り、アメリカは核抑止力を手放せないという理屈がまだ根強い。

イラクのアラビアンナイトの栄華は見る影もなく荒廃しているが、さらなる昔の古代文明や、さらに人類発祥の遺跡が発掘されている。世界各地から出てきたネアンデルタール人は死者を埋葬する文化があったようだが、イラク北部の遺跡では遺体に花まで添えたらしい。

戦塵の中で考古学者はどんな思いで発掘作業をしているのだろう。人殺し技術ばかりを進化させてきた文明への批判は、今こそ180度の転換を迫られている。

今と過去を両掌に乗せて見栄や立場を離れて権力の場で話し合えば、この閉息感を抜けれるかもしれない。